

【12月9日（月）朝礼講話】

7日の土曜日に、愛・地球博記念公園で「第14回市町村対抗駅伝競走大会」が行われました。テレビでも放映されていたので、見ていた人もいるかもしれません。

愛知県内の各市町村から選ばれた、小学生の男女、中学生男女、ジュニア男女、一般男女、40歳以上の選手9名で、タスキをつないで走ります。愛西市の代表として、6年生の金子來心（かねこ くるみ）さんが正選手として、渡辺 尚（わたなべ ひさし）君が補欠として、会場へ行きました。金子さんが一生懸命に走ってタスキをつなぐ姿や、渡辺君が共に練習に取り組んできた仲間に応援の言葉をかけている姿がとても素敵でした。お疲れ様でした。

また、津島市の一般男子で、神野先生の弟の『神野大地（かみの だいち）選手』も参加し、プロの走りに会場は驚きの声に包まれていました。

最近、気になることがあります。休み時間や給食後の時間などにけがをして、妙楽先生が病院へ連れていくということ、先週だけで何件もありました。その原因の多くが、教室でふざけていたり、追いかっこなどをしていたりしている中で、友達にけがをさせてしまったというものでした。足を押されて前に倒れて、口元が切れて歯茎から血が出た件。ふざけて蹴り合っていてけがをさせてしまった件。また、子ども食堂でも走っていて、転んだ子が歯を傷めたと今朝聞きました。

いいですか。人をけがをさせてしまったら、「ごめんなさい」では済みません。けがをした本人も痛い思いをして、さらに通院もしなければなりません。もちろんお家の方も病院へ連れて行かなければなりません。何にもまして、自分の大切な子どもがけがをさせられるというのは、親としてはとても納得できません。けがの程度がまだ、治療をすれば治るものであったことが幸いです、場合によっては傷が残ったり、骨折して長い間不自由な生活を強いられたり、運が悪ければ一生残る障害を負わせたりすることも考えられます。

年末が近づき、クリスマスやお正月など楽しいことがあります。少し気持ちがそわそわして落ち着きがない子が多い気がします。学校は、安心安全に過ごせる場所ではなくてはなりません。教室や狭い場所で暴れたり、追いかっこをしたりしないようにしてほしいと思います。また、何か行動するときには、「これをしたらどんな危険なことが起こるか」をしっかりと考えてみましょう。校長先生からのお願いです。

今日は菱田先生のお話を聞きます。しっかりと聞きましょう。